

2. サービス業の景況概要

観光関連業に関して、国の支援策は効果があったが、停止されてしまい、いつ再開するのかわからず、目途がたたない。接客の現場でも、今までと異なる複雑な接客を求められ混乱している。また、旅館の営業自体に理解が得られない風潮もあり、困惑しているとのコメントもあった。特に「今後の見通し」の回答について、同じ状況を前提とした調査とならなかったこと、つまり、調査時点における状況（Go To トラベル事業停止12/28～、1都3県緊急事態宣言1/7等々）が目まぐるしく変わったため、そのことにより各事業所の回答に影響を与えたと思われることをあら

【後継者の状況】

現経営者、後継者は30～50歳代がほとんどであり、心配はない

後継者 あり	7事業所	77.8%
後継者 なし	2事業所	22.2%

【売上高】

全ての事業所が減少と回答、今後の見通しで増加と回答した事業所は、Go To トラベル事業停止前に回答したものである。

前年同期比

増加	不変	減少
0	0	9

前期比

増加	不変	減少
0	0	9

今後の見通し

増加	不変	減少
1	1	7

【採算】

全ての事業所が悪化と回答、今後の見通しで増加と回答した事業所は、Go To トラベル事業停止前に回答したものである。

前年同期比

好転	不変	悪化
0	0	9

前期比

好転	不変	悪化
0	0	9

今後の見通し

好転	不変	悪化
1	1	7

【仕入単価】

コロナ禍で、飲食店等の需要減少で、食材が余って単価が低下しているということは見られない。

前年同期比

上昇	不変	低下
2	6	1

前期比

上昇	不変	低下
1	7	1

今後の見通し

上昇	不変	低下
1	8	0

【販売（客）単価】

回答にばらつきが見られるのは、調査時点の状況が変化しているため、上昇との回答は、Go To トラベル事業による観光需要の回復、低下と回答した1社はGo To トラベル事業停止後の回答。Go To トラベル事業期間中、高額料金設定の客室稼働率が良かったとの回答があった。

前年同期比

上昇	不変	低下
1	6	2

前期比

上昇	不変	低下
3	6	0

今後の見通し

上昇	不変	低下
2	3	4

【資金繰り】

Go To トラベル事業の事務局からの精算が遅く、資金繰り計画が立てられず困る。クレジット払いによる売掛が多くなり、負担となっている。

前年同期比

好転	不変	悪化
1	0	8

前期比

好転	不変	悪化
0	1	8

今後の見通し

好転	不変	悪化
0	3	6

【雇用動向】

パート労働者を減らした事業所はあったが、雇用調整助成金を活用して、雇用の維持に努めている事業所がほとんどであった。人材確保と、人件費負担で難しい経営状況に直面している。

前年同期比

増加	不変	減少
0	8	1

前期比

増加	不変	減少
0	7	2

今後の見通し

増加	不変	減少
1	7	1

【景況判断】

国の観光業支援策は効果があったが、継続されず再び落ち込み、不安な状況に置かれ、先の見えない状況が続き苦しい状況である。現状では、いつ好転するのか

前年同期比

好転	不変	悪化
0	0	9

前期比

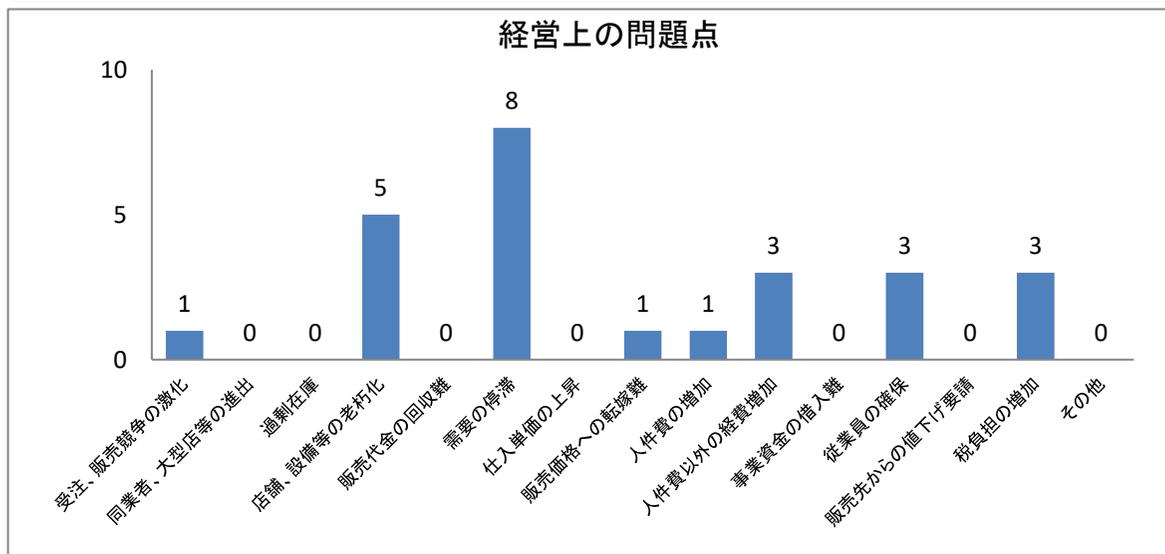
好転	不変	悪化
0	0	9

今後の見通し

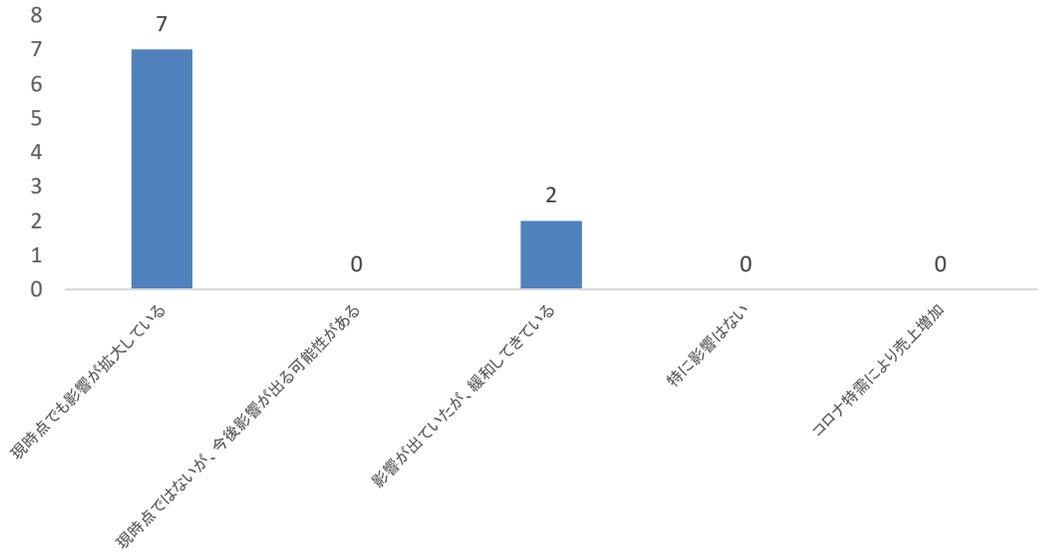
好転	不変	悪化
0	3	6

【経営上の問題点】

感染症の影響による需要停滞の他に、設備老朽化、維持負担増、人材確保、感染対策等経費負担の増加をあげる事業所が多い。



新型コロナウイルスによる企業活動への影響



具体的な影響または影響見込み

